



わかみどり

<http://hirabayashi-e.murakami.ed.jp>



馬の鼻先に人参をぶらさげる

平林小学校 校長 遠藤 直人

「馬の鼻先に人参をぶらさげる」——私もこれに弱いところがあります。人からぶら下げてもらったり、自分でぶら下げたりしてきました。

内発的動機で行っている行為に対してご褒美を与えると、その行動が減少したり、内発的動機が弱まったりする可能性があるそうです。これは「過剰正当化効果」と呼ばれ、もともと楽しみや自己満足のために行っていた行動に外的報酬が与えられると、その行動が外的報酬によって動機づけられていると認識され、内発的な動機が低下する現象です。たとえば、絵を描くことが好きな子どもに報酬を与えると、次第に絵を描くことが報酬を得る手段と感じ、楽しさが失われる可能性があります。走ることが好きな馬に人参をぶら下げると、走ることをやめてしまうということです。

2学期の始業式で、子どもたちには毎朝自分で掃除をする場所を見つけて掃除してほしいと話しました。登校バスが遅く到着する児童や、朝はゆっくり教室で過ごしたい児童もいるので、自主性に任せています。教室や廊下、体育館など、学校のさまざまな場所から自分が「ここをきれいにしたい」と思う場所を見つけて掃除することで、児童たちが自ら考え、主体的に行動する力を育てることが目的です。

この掃除の活動は、児童たちに「自律」を育む重要な機会です。自分の見つけた場所をきれいにしてから一日をスタートすることで、自分の行動が学校全体に良い影響を与えている実感を得られます。毎日違う場所を選ぶことで、新しい発見や気づきがあり、学校生活の視野も広がります。今日は掃除をするかどうか、どの場所を掃除するか、小さな自己決定の場を子どもたちに与えています。

始まったばかりで、数人ですが、自発的に掃除を始めている児童も増えてきました。その姿を見るたびに、彼らの成長と、自分で考えて行動する力が育まれていると感じます。こうした行動は内発的な動機から生まれたものであり、その意欲を大切にしたいと考えています。児童たちの自律を促し、内発的動機を育てる教育を進めることが私たちの目指すところです。

だからこそ、ご褒美で行動を促さず、児童たちが自分の意志で行動し続けられるよう心がけています。



避難訓練

8月30日(金)にスクールガードリーダーの東海林様を講師にお招きし、不審者対応の避難訓練を行いました。

不審者役の侵入を受けて体育館へ避難した後、東海林様より不審者に対応するための心構えや登下校時に出会った時の逃げ方を教えていただき、大変有意義な訓練ができました。



縦割り班あそび 楽しみました！



9月5日、今年2回目の縦割り班での遊びを行いました。班ごとに内容を相談して、みんなが楽しめる遊びを決めました。

ドッジボールやおにごっこ、いすとりゲーム、ハンカチおとしなどなど…、25分間のお楽しみタイムでしたが、どの子も満足したようで、にこにこの笑顔でした。

次の縦割り班の大きな活動は11月の平小フェスティバルです。場所と内容を考えて、さらに楽しめる計画を立てます。



「いすとりゲーム」
耳をそばだて、いすをねらいます。



体験棟の外を直してもらいました



20年間の風雨のため、体験棟の外側の床が腐食していました。外遊びでは、日陰になる丁度よい休憩どころなので、修理を教育委員会等にも相談していたのですが、なかなかできずに困っていたところ、地域のお住いの岸馨さんがコンパネで修理をしてくださいました。また、壊れていたブランコも直してくださいました。

大変ありがとうございます。



ありがとうございました。